

厚生労働科学研究費補助金
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
生活習慣病重症化予防のための戦略研究

『自治体における生活習慣病重症化予防のための
受療行動促進モデルによる
保健指導プログラムの効果検証に関する研究』

平成25年度～平成27年度 総合研究報告書

研究代表者 磯 博康 大阪大学教授

平成29(2017)年 2月

「自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進
モデルによる保健指導プログラムの効果検証」(J-HARP)

研修会の実施並びに
保健指導に関する自己評価アンケートの収集マニュアル

第 1.0.0 版：平成 25 年 3 月 1 日作成

第 1.1.0 版：平成 25 年 11 月 15 日修正

第 1.2.0 版：平成 27 年 2 月 12 日修正 (平成 27 年 4 月 9 日倫理審査委員会承認)

第 1.3.0 版：平成 27 年 8 月 10 日修正

第 1.4.0 版：平成 27 年 12 月 9 日修正

第 1.5.0 版：平成 28 年 1 月 15 日修正

厚生労働科学研究費補助金
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」

1. 研修会開催の目的

介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究の精度を高めることを目的とする。

2. 研修会の運営

自治体職員を対象とする研修の実績を持つ国立保健医療科学院のスタッフをリーダーとする標準化チームが他のチームと連携しながら研修会を企画し、各チームおよび戦略研究推進室が協働して開催する。

3. 開催方法

東京または大阪近郊（参加自治体の利便性を考慮して決める）の会場において、講義および演習形式で開催する（以下、中央研修会という）。

また、介入地域の中央研修会を受講しなかったスタッフに対しては、中央研修会の修了者がビデオ教材等を用いて中央研修会と同等の内容で伝達研修会を実施する。ビデオ教材等では伝達しにくい一部の内容については、地域別ブロック研修会を開催する。

4. 対象者

介入地域の保健衛生業務・国民健康保険担当課において保健指導者（原則、保健師、管理栄養士も含む）、事務職並びにプログラム担当のリーダー職員を対象とする。

5. 研修会の種類

(1) 研修会 I A

事務職員・リーダー職員を対象として、保健指導プログラムの遂行準備のために、研究への参加開始時に行う研修会（説明会）。

・ G I O（一般目標）

介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ管理ができる。

・ S B O s（到達目標）

1) 研究の意義や介入地域の役割を理解し説明することができる。

2) 保健指導プログラムの遂行およびデータ管理(収集・回収・提出)ができる。

(2) 研修会 I B C

保健指導実施者が、受療行動促進モデルによる保健指導を一定以上の高い質で実施できるようになるために、保健指導実務開始前に必ず受講する研修会（中央研修会の修了者がビデオ教材等を用いて行う伝達研修会も含む）。

・ G I O（一般目標）

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

・ S B O（到達目標）

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、保健指導計画を立案することができる。
- 3) 本戦略研究における研修やモニタリングの仕組み及び介入内容の標準化について理解したうえで、保健指導の質の向上に取り組むことが出来る。
- 4) 健診結果が示している身体状態を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 5) 管理台帳を活用し、すべての対象者を継続的に効率的に支援できる。

(3) 病態研修会

保健指導実施者が、受療行動促進モデルによる保健指導を、高血圧・糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病の病態に関する生理的機序を踏まえたうえで行うことができるようになるための研修会（中央研修会、地域別ブロック研修会の修了者がビデオ教材等を用いて行う伝達研修会も含む）。

・ G I O（一般目標）

受療行動促進モデルによる保健指導を、高血圧・糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病の病態に関する生理的機序を踏まえたうえで行うことで、生活習慣病重症化予防が効果的に実施できるようになる。

・ S B O（到達目標）

- 1) 健診結果から、対象者の身体の代謝機序、血管障害状況を整理でき、受療行動促進モデルにそった保健指導計画が立案できる。
- 2) 健診結果から、対象者が生活習慣病の病態、特に代謝異常や血管への障害を

理解するように保健指導を展開できる。

(4) 研修会Ⅱ並びに地域別ブロック研修会

各介入地域における保健指導プログラムの遂行状況・モニタリング結果を踏まえて、課題の明確化と改善を図り、保健指導の質の向上を図るための研修会（中央研修会、地域別ブロック研修会の修了者がビデオ教材等を用いて行う伝達研修会も含む）。

・G I O（一般目標）

介入地域における介入の標準化（手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導の標準化）を図る。

・S B O s（到達目標）

- 1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。
- 2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる
- 3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。
- 4) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。

6. 研修会の開催時期・回数

「表1. 研修会の開催状況と計画」の通り。介入開始時期が異なっても、研修内容はできるだけ同じになるようにする。

7. 保健指導に関する自己評価アンケートの収集

研修会（伝達研修会を含む）時の直前・直後等で、保健指導に関する自己評価アンケートを実施する。保健指導実施者の自治体名、氏名等の個人情報収集に関しては同意を得る。自己評価アンケート結果は、平成30年3月31日まで収集する。アンケートの回答データは、戦略研究推進室において電子化し、原票とともに厳重に保管する。電子化したデータのうち、自治体ID、保健指導実施者のID、アンケート回答データを抽出して、パスワード付きのデジタル記憶媒体にコピーし、データセンターに送付して集計する。その集計結果は介入サポートチーム・標準化チーム・戦略研究推進室と

で共有し、研修会（事例検討を含む）の内容改善（後述）に反映する。

8. 研修会の内容の改善方針

国立保健医療科学院において、研修会参加中・終了時の課題、プログラムモニタリングチームによるモニタリングの結果を基に、保健指導の標準化および質の向上が図られているかどうか、研修会の内容が適切であったかについて評価する。研修会（伝達研修会を含む）の内容については研修会直前・直後等に保健指導に関する自己評価アンケートを行い、一般目標・到達目標（各4段階）の到達度を各自治体間で比較し、特に到達度が低い自治体及び項目に関しては、研修会の内容を改善して補強するとともに、集計結果と改善すべき課題を介入サポートチームに適宜フィードバックし、それに基づいて介入サポートチームが介入自治体を支援する。

表1. 研修会の開催状況と計画

		介入開始時期		
		平成26年4月開始群	平成26年9月開始群	平成27年4月開始群
平成25年度	2月	研修会 I BC (2月17日・18日) 研修会 I A (2月24日)		
	3月			
	4月			
平成26年度	5月	病態研修会 (5月10日・11日)		
	6月			
	7月			
	8月		研修会 I BC (8月21日・22日)	
	9月		研修会 I A (9月22日)	
	10月			
	11月			
	12月			
	1月	研修会 II (病態に関する内容を含む) (1月15日・16日)		
	2月			研修会 I BC (病態に関する内容を含む) (2月16日・17日)
	3月			研修会 I A (3月6日)
	平成27年度 ～平成29年度	4月		
5月				
6月				
7月		第一回中央研修会 (Ⅱおよび病態に関する内容を含む) (7月18日・19日)		
8月				
9月				
10月		地域別ブロック研修会 (10月12日@大阪、17日@東京、24日@鹿児島)		
11月				
12月				
1月		第二回中央研修会 (Ⅱおよび病態に関する内容を含む) (1月9日・10日)		
2月				
3月				

資料 1-1. 平成 25 年度研修会 I B C (平成 26 年 2 月 17 日・18 日) 開催案内文書

平成 26 年 2 月 10 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究

参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究

研究実施者 国立大学法人大阪大学

戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授

戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2～3名（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

参加申し込み方法：参加申込書（別紙1）をご記入の上、2月12日までに、メールまたはFAXにてお申し込みください。

※割り付け結果の通知が研修会の間近となり、参加申し込み〆切日・開催日までの日数が短くなっており、たいへん恐縮でございますが、御高配の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年2月17日（月）10：00～18：00（9：50から事務連絡）

2月18日（火）9：00～16：30

会場：TKP 神田ビジネスセンターANNEX ホール3A

（URL：<http://kanda-kc.net/annex>）

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-14-10 内神田ビル Tel. 03-5227-8772

別紙2 地図参照。

宿泊場所：ホテルはJR 神田駅周辺で確保しておりますので、ご利用ください。

ご利用になられる場合は、参加申込書（別紙1）に記入欄がありますので、ご記入いただきますようお願い致します。

個別で予約していただいても構いません。宿泊費は実費支給（上限11,400円）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3 時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 各市の健診結果票、保健指導帳票

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分からホール3Aで行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917・3918 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 1-2. 平成 25 年度研修会 I B C (平成 26 年 2 月 17 日・18 日) 当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成25年度第1回研修会 時間割
平成26年2月17日(月)～18日(火)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、保健指導計画を立案することができる。
- 3) 本戦略研究における研修やモニタリングの仕組み及び介入内容の標準化について理解したうえで、保健指導の質の向上に取り組むことが出来る。
- 4) 健診結果が示している身体状態を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 5) 管理台帳を活用し、すべての対象者を継続的に効率的に支援できる。
- 6) 上記1)から5)について、他のスタッフに復命することができる。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	9:50-10:00	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成26年2月17日(月) 10:00-10:30	開講の挨拶・趣旨説明	磯
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。相談窓口(戦略研究推進室)を理解する。	
2	" 10:30-11:00	I 保健指導プログラムの基本的な考え方	野口
		本研究における保健指導プログラムの概要、全体的な流れ、介入必須条件、保健指導の各ステップや内容(初回指導、継続指導)について理解する。	
3	" 11:00-12:20	II 保健指導プログラムの理論的枠組み概要	牧本
		本戦略研究の保健指導プログラムの理論的な基礎であるヘルス・ビリーフ・モデルとそれに基づく受療行動促進モデルについて理解するとともに、保健指導のアセスメントと教育介入の枠組みを理解する。	
4	" 13:30-15:00, 15:10-15:50	III 保健指導の実施方法	野口
		受療行動促進モデルに基づいて健診結果経年表と構造図を活用した具体的な保健指導の展開(高血圧、糖尿病、脂質異常症、蛋白尿)を学ぶ。管理台帳の記入方法及び管理台帳を活用した保健指導計画の立案について学ぶ。	
5	" 15:50-16:20	質疑応答	担当講師全員
		重症化ハイリスク者に対する受療行動促進モデルについてのイメージ化、構造図を使った保健指導の展開イメージ等について確認し、疑問点を解決する。	
6	" 16:30-16:50	IV 研修会について	横山
		本戦略研究における研修会の全体計画について、その趣旨や仕組み等について知る。	
7	" 16:50-17:20	V モニタリングについて	吉田
		本戦略研究におけるモニタリングについて、その趣旨や仕組みについて知る。	
8	" 17:20-17:50	VI 医療との連携について	北村
		重症化ハイリスク基準の各学会ガイドライン上での位置づけ等を知る。医療機関との連携で考慮すべき点を理解するとともに、連携を円滑に進めるためのツールや方策を学ぶ。	
9	17:50-18:00	事務連絡	丸山
		事務連絡	
10	18:00-19:00	交流会	希望者全員
		情報交換など交流を深める。	

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
11	平成26年2月18日(火) 9:00-10:30	VII 事例検討、演習 保健指導計画の立案及び保健指導展開例の提示	野口
		事例をもとに具体的な身体状態等の読み解き、保健指導計画の立案を各自及びグループで演習を行う。その後、講師が基本的な読み解き、保健指導計画について解説する。 また、講師が健診結果経年表・構造図を用いて保健指導の展開例を示し、受講者同士でロールプレイを行う。この過程を通じて具体的な保健指導展開を学ぶ。	
12	" 10:30-12:30	事例1	野口、 介入サポートチーム
		40分:読み解き+解説 30分:ロールプレイ(役割:保健指導実施者、対象者、観察者) 20分:評価と共有	
13	" 13:30-15:30	事例2、3	野口、 介入サポートチーム
		同上	
14	" 15:30-15:50	事例検討のまとめ	野口、 介入サポートチーム
		事例検討を通じて、展開が困難であった点について確認する。	
15	" 15:50-16:20	VIII 伝達研修及び研究実施体制のセルフチェックについて	横山
		研修内容を他のスタッフにどのように復命するか。介入市における研究実施体制・実施状況に関するセルフチェックについて。	
16	" 16:20-16:30	事務連絡	丸山
		事務連絡	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。
※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料 2-1. 平成 25 年度研修会 I A (平成 26 年 2 月 24 日) 開催案内文書

平成 26 年 2 月 18 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で説明会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この説明会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ管理ができるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から、計2～3名ご参加ください。

データ収集・管理および契約に関する担当者

保健指導実務担当の保健師（そのうち保健師1名は本研究担当のリーダー的立場の方）

参加申し込み方法：参加申込書（別紙1）をご記入の上、2月19日（水）までに、メールまたはFAXにてお申し込みください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年2月24日（月）13：00～17：30

※説明後16：30～17：30まで、同会場にて交流会を開催致します。是非ご参加ください。事前申し込みは不要です。

会場：TKP神田ビジネスセンターANNEX ホール4A（URL：<http://kanda-kc.net/annex>）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-10 内神田ビル Tel.03-5227-8772（別紙2地図参照。）

【3】説明会の予定：別紙3時間割をご参照ください。

【4】説明会中の注意事項

- (1) 受付は12時50分からホール4Aで行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、説明会への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (5) ネームカードを受付時に貸与し終了後に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917・3918 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 2-2. 平成 25 年度研修会 I A (平成 26 年 2 月 24 日) 当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成25年度 介入自治体への合同説明会
時間割
平成26年2月24日(月)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※
介入自治体における保健指導プログラムの遂行およびデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※
1) 研究の意義や介入自治体の役割を理解し説明することができる
2) 保健指導プログラムの遂行およびデータ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成26年2月24日(月) 13:05-13:40	1. 研究概要と研究の意義	磯
		本研究の目的や概要、評価項目、介入自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。	
2	" " 13:40-14:10	2. 健診・レセプトデータの流れ	西連地
		健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。	
3	" " 14:10-14:40	3. 保健指導記録関係データの流れ	西連地
		構造図・管理者台帳等の印刷から、当該帳票データが解析されるまでの流れについて知る。	
4	" " 14:50-15:20	4. 戦略研究推進室の役割と契約について	西澤
		戦略研究推進室の役割と介入自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。	
5	" " 15:20-16:10	総合質疑応答	担当講師全員
		健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。	
6	" " 16:10-16:20	事務連絡	丸山
		事務的な連絡事項について知る。 交通費支給手続きについて知る。	
7	" " 16:30-17:30	交流会	希望者全員
		情報交換など交流を深める。	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したものの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何が出来るようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料 3-1. 平成 26 年度病態研修会（平成 26 年 5 月 10 日・11 日）開催案内文書

平成 26 年 4 月 14 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

麗春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における受療行動促進モデルによる保健指導を、高血圧・糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病の病態に関する生理的機序を踏まえたうえで行うことで、生活習慣病重症化予防がより効果的に実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

参加申し込み方法：参加申込書（別紙1）をご記入の上、4月21日までに、メールまたはFAXにてお申し込みください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年5月10日（土）9：50～19：40（9：50から事務連絡）

5月11日（日）9：00～16：10

会場：大阪大学银杏会館 3階大会議室

（URL：<http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/icho-jp.html>）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

別紙2地図参照。

宿泊場所：ホテルは千里阪急ホテル（<http://www.hankyu-hotel.com/hotel/senrihh/>）を1泊10,692円（朝食なし）で確保しておりますので、ご利用ください。

ご利用になられる場合は、仮予約の都合上、4月16日（水）までに宿泊人数と宿泊日数を戦略研究推進室（senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp）までご連絡下さい。よろしく願い致します。

個別で予約していただいても構いません。宿泊費は実費支給（上限11,400円）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) セミナー生活習慣病、配布されているガイドライン

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から大会議室で行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なもので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

- 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤
- ・TEL：06-6879-3917・3918 FAX：06-6879-3913
 - ・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料3-2. 平成26年度病態研修会（平成26年5月10日・11日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 病態研修会 時間割
平成26年5月10日(土)～11日(日)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

受療行動促進モデルによる保健指導を、高血圧・糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病の病態に関する生理的機序を踏まえたうえで、生活習慣病重症化予防が効果的に実施できるようになる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 健診結果から、対象者の身体の代謝機序、血管障害状況を整理でき、受療行動促進モデルにそった保健指導計画が立案できる。
- 2) 健診結果から、対象者が生活習慣病の病態、特に代謝異常や血管への障害を理解するように保健指導を展開できる。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	9:50~9:55	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成26年5月10日(土) 9:55~10:00	開講の挨拶	磯
		本研修会の目的と概要について。	
2	" 10:00~10:10	今回の研修のねらい、事例①の説明	野口・ 介入サポートチーム
		事例①(脂質異常)の概要を確認する。	
3	" 10:10~12:30	脂質異常事例①の保健指導計画立案に生かす病態生理	島袋充生先生 (徳島大学 バイオヘルスサイエンス部心臓血管学)
		保健指導計画立案に必要な、脂質異常の病態生理について理解する。	
		昼休み	
4	" 13:15~14:00	事例①の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開	野口・ 介入サポートチーム
		病態生理を踏まえたうえで、事例①の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。	
		休憩10分	
5	" 14:10~14:20	事例②の紹介	野口・ 介入サポートチーム
		事例②(高血圧)の概要を確認する。	
6	" 14:20~16:00	高血圧事例②の保健指導計画立案に生かす病態生理	大石充先生 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科)
		保健指導計画立案に必要な、高血圧の病態生理について知る。	
7	" 16:00~17:00	事例②の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開	野口・ 介入サポートチーム
		病態生理を踏まえたうえで、事例②の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。	
8	" 17:00~18:00	介入手順書の変更点の説明、その他連絡事項	野口・ 介入サポートチーム
		介入手順書の変更点の説明と、その他の連絡。	
9	" 18:00~18:05	事務連絡	丸山
10	" 18:10~19:40	情報交換会	

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
11	平成26年5月11日(日) 9:00~9:10	事例③の説明 事例③(高血糖・糖尿病)の概要を確認する。	野口・ 介入サポートチーム
12	" 9:10~11:30	高血糖・糖尿病事例③の保健指導計画立案に生かす病態生理 保健指導計画立案に必要な、高血糖・糖尿病の病態生理について理解する。	小川渉先生 (神戸大学 糖尿病・内 分泌分野)
13	" 11:30~12:15	事例③の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開 病態生理を踏まえたうえで、事例③の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。	野口・ 介入サポートチーム
昼休み			
14	" 13:00~13:10	事例④の紹介 事例④(蛋白尿)の概要を確認する。	野口・ 介入サポートチーム
15	" 13:10~15:15	蛋白尿事例④の保健指導計画立案に生かす病態生理 保健指導計画立案に必要な、蛋白尿の病態生理について理解する。	菱田明先生 (焼津市立総合病院)
16	" 15:15~15:45	事例④の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開 病態生理を踏まえたうえで、事例④の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。	野口・ 介入サポートチーム
17	" 15:45~16:00	まとめ、連絡事項 全体のまとめと、その他の連絡。	野口・ 介入サポートチーム
18	" 16:00~16:10	事務連絡	丸山

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料4-1. 平成26年度研修会IBC（平成26年8月21日・22日）開催案内文書

平成26年8月20日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年8月21日（木）10:00～19:00（9:50から事務連絡）
8月22日（金）9:00～14:40

会場：情報オアシス神田セミナーハウス オアシス1

（URL：<http://www.jo-kanda.com/>）別紙1地図参照。

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-4 第2滝ビル5F Tel. 03-3253-2911

宿泊場所：京王プレッソイン

（URL：<http://www.presso-inn.com/kanda/>）別紙2地図参照。

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-8 TEL 06-3253-2911

個別で予約していただいても構いません。お1人様シングル1泊当たり8,600円（朝食有）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 各市の健診結果票、保健指導帳票

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

- 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤
- TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913
 - Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料4-2. 平成26年度研修会IBC（平成26年8月21日・22日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度第1回研修会 時間割
平成26年8月21日(木)～22日(金)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、保健指導計画を立案することができる。
- 3) 本戦略研究における研修やモニタリングの仕組み及び介入内容の標準化について理解したうえで、保健指導の質の向上に取り組みることが出来る。
- 4) 健診結果が示している身体状態を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 5) 管理台帳を活用し、すべての対象者を継続的に効率的に支援できる。
- 6) 上記1)から5)について、他のスタッフに復命することができる。

講義内容

番号	日時	講義内容	担当講師
	9:50-10:00	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成26年8月21日(木) 10:00-10:30	開講の挨拶・趣旨説明	磯
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。相談窓口(戦略研究推進室)を理解する。	
2	" 10:30-11:00	I 保健指導プログラムの基本的な考え方	野口
		本研究における保健指導プログラムの概要、全体的な流れ、介入必須条件、保健指導の各ステップや内容(初回指導、継続指導)について理解する。	
3	" 11:00-12:30	II 保健指導の実施方法(受療行動促進モデルの理解を中心に)	野口
		受療行動促進モデルとはなにかを理解し、いくつかの事例をもとに具体的な展開イメージを理解できる。	
休憩			
4	" 13:30-15:00	II 保健指導の実施方法	野口
		保健指導資料集を使用した具体的な保健指導の展開(高血圧、糖尿病、脂質異常症、蛋白尿)を学ぶとともに、保健指導記録表、管理台帳的使用方法について学ぶ。	
5	" 15:00-15:30	III 保健指導記録票の記入方法	野口
		保健指導記録票の記入の際の留意点を確認する。	
休憩			
6	" 15:40-16:10	IV モニタリングについて	吉田
		本戦略研究におけるモニタリングについて、その趣旨や仕組みについて知る。	
7	" 16:10-17:00	質疑応答	担当講師全員
		重症化ハイリスク者に対する受療行動促進モデルについてのイメージ化、構造図を使った保健指導の展開イメージ等について確認し、疑問点を解決する。	
8	" 17:00-18:10	V 対象となる重症化ハイリスクの病態、代謝異常の理解	高原
		対象のリスクについて、代謝異常などのメカニズムの概要を理解する	
9	18:10-18:20	事務連絡	丸山
		事務連絡	
10	18:20-19:00	交流会	希望者全員
		情報交換など交流を深める。	

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
11	平成26年8月22日(金) 9:00-10:00	VI メカニズムの理解をもとにした事例検討(事例1) 保健指導計画の立案及び保健指導展開例の提示	野口
	事例をもとに具体的な身体状態等の読み解き、保健指導計画の立案を各自及びグループで行う。その後、講師が基本的な読み解き、保健指導計画について解説する。この過程を通じて具体的な保健指導展開を学ぶ。		
12	" 10:00-11:30	事例2,3	野口
	同上		
13	" 11:30-12:00	事例検討のまとめ	野口
	事例検討を通じて、展開が困難であった点について確認する。		
14	" 12:00-12:30	VII 医療との連携について	磯
	重症化ハイリスク基準の各学会ガイドライン上での位置づけ等を知る。医療機関との連携で考慮すべき点を理解するとともに、連携を円滑に進めるためのツールや方策を学ぶ。		
休憩			
15	" 13:30-14:10	VIII 研修会・伝達研修会について	横山
	本戦略研究における研修会の全体計画について、その趣旨や仕組み等について理解する。 研修内容を他のスタッフにどのように復命するかについて理解する。		
16	" 14:10-14:30	質疑応答	担当講師全員
	介入、モニタリング、標準化(研修会)等、研究遂行するにあたって必要な事項を確認し、疑問点を解決する。		
17	" 14:30-14:40	事務連絡	丸山
	事務連絡		
※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したものを。			
※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。			

資料5-1. 平成26年度研修会 I A (平成26年9月22日) 開催案内文書

平成26年9月10日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で説明会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この説明会の目的は、対照自治体におけるデータ管理（収集・回収・提出）ができるようになることとしてしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から、計2名ご参加ください。

データ収集・管理および契約に関する担当者

保健指導実務担当の保健師

参加申し込み方法：参加申込書（別紙1）にご記入の上、9月17日（水）までに、メールまたはFAXにてご連絡ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年9月22日（月）13:00～16:00

会場：大阪大学東京オフィス 多目的室1・2

（URL：<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/tokyo/office>）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 Tel. 03-6205-7741（別紙2地図参照。）

【3】説明会の予定：別紙3時間割をご参照ください。

【4】説明会中の注意事項

- (1) 受付は12時50分から多目的室1・2ホール4Aで行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、説明会への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (5) ネームカードを受付時に貸与し終了後に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料5-2. 平成26年度研修会 I A (平成26年9月22日) 当日時間割

別紙3

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 対照自治体 合同説明会
時間割
平成26年9月22日(月)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

対照自治体におけるデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 研究の意義や対照自治体の役割を理解し説明することができる
- 2) データ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成26年9月22日(月) 13:05-13:40	1. 研究概要と研究の意義 ----- 本研究の目的や概要、評価項目、対照自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。	磯
2	" 13:40-14:10	2. 健診・レセプトデータの流れ ----- 健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。	西連地
3	" 14:20-14:50	4. 戦略研究推進室の役割と契約について ----- 戦略研究推進室の役割と対照自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。	西澤
4	" 14:50-15:20	総合質疑応答 ----- 健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。	担当講師全員
5	" 15:20-15:30	事務連絡	
6	" 15:30-16:00	情報交換会	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料6-1. 平成26年度研修会Ⅱ（平成27年1月15日・16日）開催案内文書

平成27年1月8日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

新春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる）こととしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：1市2名分は、当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成27年1月15日（木）10:00～20:00（9:50から事務連絡）

1月16日（金）9:00～15:30

会場：大阪大学大学院医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター マルチメディアホール
別紙1地図参照。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 1F Tel. 06-6879-3917

宿泊場所：ホテル阪急エキスポパーク

（URL：<http://www.hankyu-hotel.com/hotel/hhexpopark/index.html>）別紙2地図参照。

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-5 TEL 06-6878-5151

お1人様シングル1泊当たり7,000円（朝食有）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2012-2013・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版・CKD診療ガイド 2012・セミナー生活習慣病

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料6-2. 平成26年度研修会Ⅱ（平成27年1月15日・16日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 研修会Ⅱ 時間割
平成27年1月15日(木)～16日(金)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における介入の標準化(手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導の標準化)を図る

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。

2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる

3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる

4) 次年度以降のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる

介入サポートチームからみた課題:

① 受療行動促進モデルに沿った保健指導ができていない(どうしても、これまでどおりの対策発想の保健指導が出てしまう。保健指導の姿勢が身につけていない)

② 読み取りが深くできない。特に蛋白尿が出現するさまざまな原因を踏まえた保健指導計画が立案できない。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	9:50-10:00	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成27年1月15日(木) 10:00-10:15	I 開講の挨拶・趣旨説明	磯
	"	II 腎機能低下、尿蛋白陽性についての基礎知識	大阪大学 岩谷博次先生
2	10:15-11:45	健診結果が示している身体状態を適切に理解できるように	
	12:00-13:00	昼休憩	
3	" 13:00-13:30	III モニタリング結果の報告	吉田
		保健指導プログラム遂行における工夫点、問題点の報告、モニタリングのフィードバック	
4	" 13:30-15:05	IV 受療行動促進モデルに沿った記録表の書き方	野口
		休憩	
5	" 15:15-16:05	V 受療の定義・エンドポイントの判定手順について	斉藤
		休憩	
6	" 16:05-18:05	VI 介入状況の報告	下村 野口 各介入市保健師
		保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かす	
7	18:05-17:10	事務連絡	丸山
		事務連絡	
8	18:30-20:00	交流会	希望者全員

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
9	平成27年1月16日(金) 9:00-10:15	VII 脂質代謝の基礎知識(リポ蛋白代謝を中心に)	大阪大学 船橋 徹先生
	健診結果が示している身体状態を適切に理解できるように		
10	" 10:15-12:15	VIII 保健指導資料集の使い方	野口
	12:15-13:00	昼休憩	
11	" 13:00-15:00	IX 事例検討(ロールプレイ含む)	野口
	介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かす		
	15:00-15:15	昼休憩	
10	" 15:15-15:55	X 研修会・伝達研修会について	横山
12	" 15:55-16:00	事務連絡	丸山
	事務連絡		
<p>※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。</p> <p>※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。</p>			

資料 7-1. 平成 26 年度研修会 I B C (平成 27 年 2 月 17 日・18 日) 開催案内文書

平成 27 年 2 月 10 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師何名でも可（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成 27 年 2 月 17 日（火）13:00～18:30（12:50から事務連絡）
2月18日（水）9:00～20:00

会場：TKP 新大阪ビジネスセンター カンファレンスルーム 4B

（URL：<http://tkpshinosaka.net/>）別紙 1 地図参照。

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-13-9 新大阪 MT ビル 3F/4F Tel. 06-6879-3917

宿泊場所：remm 新大阪

（URL：<http://www.remm.jp/shinosaka/>）別紙 2 地図参照。

〒568-0606 大阪府大阪市淀川区宮原 1-1-1 TEL 06-7668-0606

個別で予約していただいても構いません。お1人様シングル1泊当たり9,000円（朝食有）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙 3 時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 各市の健診結果票、保健指導帳票

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は11時30分から会場にて行います。12時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要な為、出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

- 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤
- ・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913
 - ・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 7-2. 平成 26 年度研修会 I B C (平成 27 年 2 月 17 日・18 日) 当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度第1回研修会 時間割
平成27年2月17日(火)～18日(水)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO) ※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs) ※

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、保健指導計画を立案することができる。
- 3) 本戦略研究における研修やモニタリングの仕組み及び介入内容の標準化について理解したうえで、保健指導の質の向上に取り組みることが出来る。
- 4) 健診結果が示している身体状態を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 5) 管理台帳を活用し、すべての対象者を継続的に効率的に支援できる。
- 6) 上記1)から5)について、他のスタッフに復命することができる。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	12:50-13:00	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成27年2月17日(火) 13:00-13:30	I 開講の挨拶・趣旨説明	磯
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。相談窓口(戦略研究推進室)を理解する。	
2	" 13:30-14:00	II 医療との連携について	磯
		重症化ハイリスク基準の各学会ガイドライン上での位置づけ等を知る。医療機関との連携で考慮すべき点を理解するとともに、連携を円滑に進めるためのツールや方策を学ぶ。	
3	" 14:00-14:30	III 保健指導記録票の記入方法	磯
		保健指導記録票の記入の際の留意点を確認する。	
		休憩	
4	" 14:50-15:20	IV モニタリングについて	吉田
		本戦略研究におけるモニタリングについて、その趣旨や仕組みについて知る。	
5	" 15:30-16:10	V 研修会・伝達研修会について	横山
		本戦略研究における研修会の全体計画について、その趣旨や仕組み等について理解する。研修内容を他のスタッフにどのように復命するかについて理解する。	
		休憩	
6	" 16:20-18:00	ビデオ講座 「高血圧事例②の保健指導計画立案に生かす病態生理」	
7	" 18:00-18:30	質疑応答	磯

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
8	平成27年2月18日(水) 9:00-10:30	ビデオ講座 「腎機能低下、尿蛋白陽性についての基礎知識」	
		休憩	
9	" 10:40-11:40	VI 保健指導プログラムの基本的な考え方	山川
		本研究における保健指導プログラムの概要、全体的な流れ、介入必須条件、保健指導の各ステップや内容(初回指導、継続指導)について理解する。	
		休憩	
10	" 13:00-14:00	VII 保健指導の実施方法	野口
		受療行動促進モデルとはなにかを理解し、いくつかの事例をもとに具体的な展開イメージを理解できる。	
11	" 14:00-15:00	VIII メカニズムの理解をもとにした事例検討(事例1) 保健指導計画の立案及び保健指導展開例の提示	野口
		事例をもとに具体的な身体状態等の読み解き、保健指導計画の立案を各自及びグループで行う。その後、講師が基本的な読み解き、保健指導計画について解説する。この過程を通じて具体的な保健指導展開を学ぶ。	
		休憩	
12	15:15-16:30	IX 事例2、3	野口
	同上		
13	" 16:30-17:30	X 保健指導の実施方法	野口
		保健指導資料集を使用した具体的な保健指導の展開(高血圧、糖尿病、脂質異常症、蛋白尿)を学ぶとともに、保健指導記録表、管理台帳の使用方法について学ぶ。	
14	" 17:30-17:45	質疑応答	野口
		事例検討を通じて、展開が困難であった点の確認や保健指導に関する疑問を解決する。	
15	" 17:45-18:00	事務連絡	丸山
		事務連絡	
16	" 18:00-20:00	意見交換会	希望者全員

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。
※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料 8-1. 平成 26 年度研修会 I A (平成 27 年 3 月 6 日) 開催案内文書【介入】

平成 27 年 2 月 27 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師何名でも可（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成 27 年 3 月 6 日（金）11:00～14:00（10:50から事務連絡）

会場：TKP 新大阪ビジネスセンター カンファレンスルーム 3A

（URL：<http://tkpshinosaka.net/>）別紙 1 地図参照。

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-13-9 新大阪 MT ビル 3F Tel. 06-6879-3917

【3】研修会期間中の予定：別紙 2 時間割をご参照ください。

【4】研修会期間中の注意事項

- (1) 受付は 10 時 30 分から会場にて行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (4) 情報交換会ではお弁当とお茶を用意します。
- (5) ネームカードを受付時に貸与し最終日に回収します。
- (6) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 8-2. 平成 26 年度研修会 I A (平成 27 年 3 月 6 日) 当日時間割【介入】

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 介入自治体 研究説明会
時間割
平成27年3月6日(金)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※
介入自治体におけるデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※
1) 研究の意義や介入自治体の役割を理解し説明することができる
2) データ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成27年3月6日(金) 11:05-11:40	1. 研究概要と研究の意義 ----- 本研究の目的や概要、評価項目、介入自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。	磯
2	" 11:40-12:10	2. 健診・レセプトデータの流れ ----- 健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。	西連地
3	" 12:10-12:40	3. 戦略研究推進室の役割と契約について ----- 戦略研究推進室の役割と介入自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。	西澤
4	" 12:40-13:00	総合質疑応答 ----- 健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。	担当講師全員
5	" 13:00-14:00	情報交換会	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようにするのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料 8-1. 平成 26 年度研修会 I A (平成 27 年 3 月 6 日) 開催案内文書【対照】

平成 27 年 2 月 27 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、対照地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師何名でも可（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成27年3月6日（金）15:00～18:00（14:50から事務連絡）

会場：TKP 新大阪ビジネスセンター カンファレンスルーム 4A

（URL：<http://tkpshinosaka.net/>）別紙1地図参照。

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-13-9 新大阪 MT ビル 4F Tel. 06-6879-3917

【3】研修会期間中の予定：別紙2時間割をご参照ください。

【4】研修会期間中の注意事項

- (1) 受付は14時30分から会場にて行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (4) 情報交換会ではお弁当とお茶を用意します。
- (5) ネームカードを受付時に貸与し最終日に回収します。
- (6) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 8-2. 平成 26 年度研修会 I A (平成 27 年 3 月 6 日) 当日時間割【対照】

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 対照自治体 研究説明会
時間割
平成27年3月6日(金)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※
対照自治体におけるデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※
1) 研究の意義や対照自治体の役割を理解し説明することができる
2) データ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成27年3月6日(金) 15:05-15:40	1. 研究概要と研究の意義 ----- 本研究の目的や概要、評価項目、対照自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。	磯
2	" 15:40-16:10	2. 健診・レセプトデータの流れ ----- 健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。	西連地
3	" 16:10-16:40	3. 戦略研究推進室の役割と契約について ----- 戦略研究推進室の役割と対照自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。	西澤
4	" 16:40-17:00	総合質疑応答 ----- 健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。	担当講師全員
5	" 17:00-18:00	情報交換会	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようにするのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料9-1. 平成27年度第一回中央研修会（平成27年7月18日・19日）開催案内文書

平成27年6月19日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

向夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる）こととしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名～（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）ご参加ください。

費用：1市2名分は、当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成27年7月18日（土）10：00～12：00（会場①）

13：00～17：30（12：50から事務連絡、会場②）

7月19日（日）9：30～16：00（会場②）

会場①：大阪大学銀杏会館 3階 大会議室

会場②：大阪大学大学院医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター

1階 マルチメディアホール

※別紙1. 地図参照

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 Tel. 06-6879-3917

宿泊場所：ホテル Crest 茨木

（URL：http://www.hotel-crest.co.jp/crest_ibaraki/）別紙2. 地図参照

〒567-0033 大阪府茨木市松ヶ本町1-8 TEL 072-620-2020

●お1人様シングル1泊当たり7,430円（朝食有）となります。

●19日（日）は、ホテルから大阪大学までの移動手段として、大型バスをご用意しております。ホテル宿泊者ならびに府内在住の参加者については、是非ご利用ください。JR茨木駅から阪大病院前までは近鉄バスをご利用いただけますが、休日であるため運行本数が少なくなっておりますので、なるべく大型バスにて移動していただきますようご協力のほどよろしくお願い致します。

大型バスの利用申し込みは、各自治体で利用人数を確認いただき、推進室

（senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp）まで、7月3日（金）までにご連絡ください。

乗車場所は、JR茨木駅西口周辺となります。別紙3. 地図参照

【3】研修会期間中の予定

別紙4、時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2012-2013・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版・CKD 診療ガイド 2012・セミナー生活習慣病

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は12時30分から会場にて行います。12時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。12時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料9-2. 平成27年度第一回中央研修会（平成27年7月18日・19日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度 第1回中央研修会 時間割
平成27年7月18日（土）～19日（日）

一般目標（General Instructional Objectives: GIO）※

介入地域における介入の標準化（手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導の標準化）を図る

到達目標（Specific Behavioral Objectives: SBOs）※

- 1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。
- 2) 介入地域の保健指導の取組み（好事例・困難事例等）を参考にし、保健指導に活かすことができる
- 3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる
- 4) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる

平成27年7月18日（土）

時間	内容	講師
10:00-12:00	介入自治体リーダー会議 各自自治体の課題についての情報共有	各介入自治体リーダー、磯先生、野口先生、 介入サポートチームの先生方
	保健指導担当リーダーが各自自治体の課題を共有し、リーダーとしての役割を強化する	
研修開始		
13:00-13:30	開催挨拶、戦略研究の進捗状況の報告 （中間評価の実施等）	磯博康先生 （研究リーダー）
	研究チームの一員として、研究の進捗状況を把握する	
13:30-15:15	各介入自治体の現状と課題報告（21市町×5分程度）	進行：野口緑先生（介入STJリーダー） 報告：各介入自治体リーダー
	他の介入自治体の介入進捗状況を聞き、介入精度を上げるための工夫や配慮すべきことを検討できるようにする	
15:15-15:30	休憩	
15:30-17:00	医療の立場から見たリスク判定と治療方法	勝谷友宏先生 （勝谷医院院長/大阪大学特任准教授）
	医療機関との連携や診療におけるリスク判定や治療計画について知り、継続保健指導①②、2年度目以降の保健指導にいかす	
17:00-17:30	介入データの収集に関する状況など ※介入2年目開始に際し、データの取り扱いや、匿名化ソフトの運用など	丸山茜子先生 （戦略研究推進室）
	データ収集（特に2年目のデータ）方法や匿名化ソフトの取扱いについて知り、今後のデータ収集にいかす	

平成27年7月19日（日）

時間	内容	講師
9:30-10:00	低所得者に適応できる国保制度について	小島寿美先生 （介入STJリーダー補佐）
	受療行動促進モデルに添った保健指導を実施するため、受療への障害・負担が経済的な理由である場合の行動のきっかけを提案できる知能を身につける	
10:00-11:00	介入2年目の受療行動促進モデルと保健指導プログラム	野口緑先生
	継続保健指導における保健指導計画の立案と受療行動促進モデルに基づく保健指導が実施できる技術を身につける	
11:00-12:00	事例検討（ロールプレイを含めた実技）	野口緑先生
	好事例に基づき、受療行動促進モデルに添った保健指導が実施できているか、確認し、疑問や課題を見つける	
12:00-12:45	昼食	
12:45-14:15	事例検討（ロールプレイを含めた実技）続き	野口緑先生
	困難事例に基づき、受療行動促進モデルに添った保健指導が実施できているか、確認し、疑問や課題を見つける	
14:15-14:45	今年度の介入サポート計画について	野口緑先生、 介入サポートチーム先生方
	手順に基づく介入が実施できるよう今年度の課題や必要性を確認する	
14:45-15:00	休憩	
15:00-16:00	糖代謝異常の理解、血管障害・合併症のメカニズム	下村伊一郎先生 （大阪大学大学院 内分泌・代謝内科学教授 戦略研究推進室長）
	糖代謝異常が起こる機序を、基本から説明し、糖尿病やその合併症がおこってしまうメカニズム、またそのなかでの生活習慣改善ならびに薬剤治療の位置づけを知ってもらうことで、HbA1c高値者の継続介入におけるよりよい保健指導の実践と計画の立案に役立てていただく。	
16:00-16:20	事務連絡等	横山徹爾先生

平成27年9月25日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。
本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようにする）こととしています。

【1】費用について

費用：参加者全員について当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

① 平成27年10月12日（月・祝） 10:00～16:00
中之島センター 703号室
（〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53）

② 平成27年10月17日（土） 10:00～16:00
TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター 105号室
（〒103-0028 東京都中央区八重洲1-2-16 TG ビル本館1F）

③ 平成27年10月24日（土） 10:00～16:00
かごしま県交流センター 大研修室2
（〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町14-50）

【3】研修会期間中の予定

別紙1_201510 時間割

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2014-2015・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版・CKD 診療ガイド 2012・脂質異常症治療ガイド 2013年版・セミナー生活習慣病・保健指導資料集

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室

- ・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913
- ・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料10-2. 平成27年度地域別研修会（平成28年10月12日・17日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度地域別研修会 時間割
平成27年10月12日（月・祝）/17日（土）

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1)ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、より個別・具体的な保健指導計画を立案することができる。
- 2)継続保健指導においても、経年の健診結果が示している身体状態や過去の保健指導記録から得られた生活習慣やリスク因子に関連する生活背景を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 3)受療につながらないなどの困難ケースの対応方法について考えることができる。
- 4)上記1)から3)について、他のスタッフに復命することができる。

開催 大阪／東京

講義内容

番号	日時	講義内容	担当講師
1	平成27年10月12日（月・祝）/17日（土） 10:00-10:10	I 開講の挨拶・趣旨説明・地域研修会の開催にあたって	磯博康先生 （研究リーダー）
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。	
2	" 10:10-12:00	II 生活習慣改善の支援について	野口緑先生 （介入STリーダー）
		生活習慣改善に係る保健指導資料の効果的な活用方法を学ぶ。	
昼休憩			
3	" 13:00-15:50	III 事例検討（グループワーク）	野口緑先生 （介入STリーダー）
		事例検討を通じて、継続保健指導における保健指導計画の立案、展開について学ぶ。	
4	" 15:50-16:00	IV 事務連絡等	横山徹爾先生
		事務連絡	

資料 10-2. 平成 27 年度地域別研修会（平成 28 年 10 月 24 日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度地域別研修会 時間割
平成27年10月24日(土)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1)ヘルス・ベリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、より個別・具体的な保健指導計画を立案することができる。
- 2)継続保健指導においても、経年の健診結果が示している身体状態や過去の保健指導記録から得られた生活習慣やリスク因子に関する生活背景を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 3)受療につながらないなどの困難ケースの対応方法について考えることができる。
- 4)上記1)から3)について、他のスタッフに復命することができる。

開催 鹿児島

開催内容

番号	日時	講義内容	担当講師
1	平成27年10月24日(土) 10:00-10:10	I 開講の挨拶・趣旨説明・地域研修会の開催にあたって	磯博康先生 (研究リーダー)
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。	
2	" 10:10-10:30	II 生活習慣改善の支援について	野口緑先生 (介入STリーダー)
		生活習慣改善に係る保健指導資料の効果的な活用方法を学ぶ。	
3	" 10:30-11:30	III 高血圧事例を理解する	大石充先生 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科)
		受療行動促進モデルに基づく保健指導計画が立案できるよう高血圧の病態について改めて学ぶ。	
4	" 11:30-12:15	IV 生活習慣改善の支援について	大石充先生 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科) 野口緑先生 (介入STリーダー)
		高血圧の困難事例の検討を通じ、高血圧事例の継続保健指導、医療との連携について学ぶ。	
昼休憩			
5	" 13:00-15:50	V 事例検討(グループワーク)	野口緑先生 (介入STリーダー)
		事例検討を通じて、継続保健指導における保健指導計画の立案、展開について学ぶ。	
6	" 15:50-16:00	VI 事務連絡等	横山徹爾先生
		事務連絡	

平成 27 年 12 月 18 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。
本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる）こととしています。

【1】費用等について

※参加者のうち 1 名は、本研究担当のリーダー的立場の方がご参加ください。
介入市の保健指導に従事される方に、出来るだけ多くご参加いただければと考えております。
ので、旅費につきましては、**最大 10 名分は大阪大学で費用負担が可能で、その人数を超える参加者分につきましては、推進室へご連絡下さい。**
また既に委託費にて旅費の予算枠を取っていただいている場合はご連絡ください。
よろしく願いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成 28 年 1 月 9 日（土）10：00～18：00
平成 28 年 1 月 10 日（日） 9：30～16：00
会場：TKP 神田駅前ビジネスセンター
（住所：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル 5F）

【3】研修会期間中の予定

別紙 1_201601 時間割 ※現在最終調整中です。でき次第お送りいたします。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2014-2015・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版・CKD 診療ガイド 2012・脂質異常症治療ガイド 2013 年版・セミナー生活習慣病・保健指導資料集

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (3) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (4) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (5) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (6) 会場の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室

- ・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913
- ・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 1 1 - 2 . 平成 28 年度第二回中央研修会（平成 28 年 1 月 9 日・10 日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度第2回中央研修会 時間割
平成28年1月9日(土)～10日(日)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO) ※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs) ※

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。
- 3) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる。
- 4) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。
- 5) 健診結果から、対象者の身体の代謝機序、血管障害状況を整理でき、受療行動促進モデルにそった保健指導計画が立案できる。
- 6) 管理台帳を活用し、すべての対象者を介入手順書に添って継続的に効率的に支援できる。
- 7) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	13:00-13:05	研修中の事務連絡	横山
1	平成28年1月9日(土) 13:05-14:30	開講の挨拶・研究の進捗状況(介入状況も含めて)	磯
		研究チームの一員として、研究の進捗状況を把握する	
2	" 14:30-17:00	II 介入の進捗状況(介入自治体からの報告)	野口
		他の介入自治体の介入進捗状況を聞き、介入精度を上げるための工夫や配慮すべきことを検討できるようにする。	
	15:30-15:40	休憩	
3	" 15:40-17:00	II 介入の進捗状況(介入自治体からの報告)(継続)	野口
		同上	
4	" 17:00-18:00	III 介入データの報告について(保健指導記録データ報告の注意点など)	西連地
		保健指導記録票の記入の際の留意点を確認する。	
5	" 18:00-18:10	IV 事務連絡	横山

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
6	平成28年1月10日(日) 9:30-10:00	V 2年度目の健診未受診者の介入に関する注意点等	小島
	2年度目の健診未受診者の介入に関する注意点等を確認する。		
7	" 10:00-12:00	VI 脂質代謝・糖代謝を理解する	帝京大学薬学部臨 床分析学教授 金子 希代子
	受療行動促進モデルに基づく保健指導計画が立案できるよう糖代謝・脂質代謝について学ぶ。		
		休憩	
8	" 13:00-15:50	VII 保健指導の実施方法	野口
	事例検討を通じて、保健指導計画の立案、展開について学ぶ。		
9	" 15:50-16:00	事務連絡	横山
	事務連絡		
<p>※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。</p> <p>※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。</p>			

資料 1 2 - 1. 平成 27 年度第一回中央研修会（平成 27 年 7 月 18 日・19 日）自己評価アンケート（他の研修会も一般目標・到達目標・講義／演習の内容が異なる以外は同様）

※ホッチキスは はずさないでください。

評価アンケート

**生活習慣病重症化予防のための戦略研究
平成 27 年度第 1 回中央研修会**

本戦略研究及び研修会の質の向上のために参考にさせていただきますので、評価アンケートにご協力ください。また率直なご意見やご希望なども自由にご記入下さい。

【 初 日 】

実施日時 平成 27 年 7 月 18 日（土）～7 月 19 日（日）2 日間

名簿 NO. 氏名 (NO.はネームカードの氏名左横の番号)

所属市名 職名

特定保健指導経験年数 年 ヶ月

本研修を受講するにあたって、以下の設問にお答え下さい。

1. あなたの市において、本研究に関するあなたの役割は以下のどれですか（複数可）。

- a. リーダー（またはその補佐）
- b. 保健指導担当
- c. その他（ ）

2. 本研修会の一般目標と到達目標に関する知識・技術レベルについて伺います。

あなたの現時点での知識・技術はどのレベルですか。

あてはまる記号を一つ選んで、下記の表の記号を○で囲んでください。

【一般目標】	知識・技術のレベル			
	1. 十分にできる 2. 概ねできる 3. 少しはできる 4. できない			
介入地域における介入の標準化を図る。 （どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる。）	1	2	3	4
【到達目標】				
1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。	1	2	3	4
2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
4) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。	1	2	3	4
5) 上記1) から4) について、他のスタッフに復命することができる。	1	2	3	4

【 修 了 時 】

1. 本研修会の一般目標と到達目標に関する知識・技術レベルについて伺います。

あなたの現時点での知識・技術はどのレベルですか。

あてはまる記号を一つ選んで、下記の表の記号を○で囲んでください。

【一般目標】	知識・技術のレベル			
	1. 十分にできる	2. 概ねできる	3. 少しはできる	4. できない
介入地域における介入の標準化を図る。 (どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる。)	1	2	3	4
【到達目標】				
1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。	1	2	3	4
2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
4) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。	1	2	3	4
5) 上記1)から4)について、他のスタッフに復命することができる。	1	2	3	4

2. 本研修会の全体的な評価について伺います。

(1) 今回の研修全体の評価(満足度)はいかがでしたでしょうか。	[一つ選んでください]
	1. とても良かった 2. 概ね良かった 3. どちらかというと良かった 4. 良くなかった
	[理由をお答え下さい]
(2) 今回の研修会は、本研究におけるあなたの役割を遂行するのに役立つと思いますか。	[一つ選んでください]
	1. とても役に立つ 2. 概ね役に立つ 3. どちらかというと役に立つ 4. 役に立たない
	[理由をお答え下さい]

(3) 講義・演習・その他の構成はいかがでしたか？	[一つ選んでください]		
	1. とても良かった 2. 概ね良かった 3. どちらかという良かった 4. 良くなかった		
	[具体的に一つ選んでください]		
	講義の割合は、 1. 多かった 2. 良い 3. 少なかった	演習の割合は、 1. 多かった 2. 良い 3. 少なかった	その他(コメント)
	[理由をお答え下さい]		

3. 講義・演習の個別評価について (次ページ「3. 講義・演習の個別評価票」にご記入下さい。)

4. 研修会の運営についてお伺いします。

(1) 開催時期について	1. 現状で良い 2. 早い 3. 遅い ⇒ () 月頃へ変更して欲しい。 理由：
(2) 開催期間・日数について	1. 現状で良い 2. 長い 3. 短い ⇒ () 日間へ変更して欲しい。 理由：
(3) 開始・終了時間について	1. 現状で良い 2. 時間変更が必要 ⇒ 開始：(時 分) 終了：(時 分) 理由：
(4) パワーポイント等について (画質、明るさ等)	1. 良く見えた 2. 見えづらかった (講義・演習名：)
(5) 講義室の環境について (期間全体を通して)	1. 良い 2. やや良い 3. 普通 4. やや悪い 5. 悪い 理由 (4. やや悪い 及び 5. 悪い の場合) ()

5. 今後、特にサポートして欲しい点についてご記入下さい。

6. その他、お気づきの点、ご意見やご希望など、ご自由にご記入下さい。

ご協力、ありがとうございました。

3. 講義・演習の個別評価票					
講義日:講義・演習名(講師)					
評 価(該当する項目の番号を記載してください)					
	(1)内容の理解	(2)講師の教え方	(3)講義等の資料	(4)プログラムの必要性	(5)時間配分
	1 よく理解できた 2 だいたい理解できた 3 あまり理解できなかった 4 全く理解できなかった	1 とても良かった 2 概ね良かった 3 あまり良くなかった 4 全く良くなかった	1 とてもわかりやすい 2 だいたいわかりやすい 3 ややわかりにくい 4 とてもわかりにくい	1 是非必要 2 概ね必要 3 あまり必要でない 4 全く必要でない	1 適切だった 2 時間が足りなかった 3 時間が長かった
7月18日	開催挨拶、戦略研究の進捗状況の報告(磯)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
7月18日	各介入自治体の現状と課題報告(報告:各介入自治体リーダー/進行:野口)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
7月18日	医療の立場から見たリスク判定と治療方法(勝谷)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
7月18日	介入データの収集に関する状況など(戦略研究推進室)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
(次ページに続く)					

7月19日	低所得者に適応できる国保制度について(小島)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
7月19日	介入2年目の受療行動促進モデルと保健指導プログラム(野口)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
7月19日	事例検討(ロールプレイを含めた実技)(野口)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
7月19日	今年度の介入サポート計画について(野口)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				
7月19日	糖代謝異常の理解、血管障害・合併症のメカニズム(下村)				
	評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
	(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
	感想等				

変更の履歴

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
平成 25 年 11 月 15 日 (第 1.1.0 版)		「研修会開催要項」から「研修会実施要綱」へ改編	開催要項に記載していた内容について、毎年の研修会実施要綱としてまとめていくことしたため。

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
平成 27 年 2 月 12 日 (第 1.2.0 版)		1 研修会開催の目的を明記	研修会開催の目的を明記した。
		2 研修会の運営を明記	研修会の運営について明記した。
		3 開催方法を明記	開催方法を明記した。
		4 対象者を明記	研修会への参加対象者について明記した。
		5 研修会の種類を明記	研修会の種類について明記した。
		6 研修会の開催時期・回数を明記	研修会の開催時期・回数を明記した。
		7 評価方法	評価方法を明記した。
		表 1 研修会の開催状況と計画を作成	表 1 において、研修会の開催状況と計画を一覧表にまとめた。

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
平成 27 年 8 月 10 日 (第 1.3.0 版)	3. 開催方法	地域別ブロック研修会について追加	地域別ブロック研修会開催を追記したため。
	4. 対象者	保健指導を実施する者について明記	「保健指導を実施する保健師」を「保健指導者（原則、保健師、管理栄養士を含む）」と明記したため。
	5. 研修会の種類 (2) 研修会 I BC	「保健指導実務担当保健師」を「保健指導実施者」へ変更	研究計画書にて「保健指導実施者」へ変更したため、用語を統一した。
	5. 研修会の種類 (3) 病態研修会	「保健指導実務担当保健師」を「保健指導実施者」へ変更 研修会の種類を追加	研究計画書にて「保健指導実施者」へ変更したため、用語を統一した。 研修会として、地域別ブロック研修会を追加したため。
	5. 研修会の種類 (4) 研修会 II 並びに地域別ブロック研修会	研修会の種類を追加	研修会として、地域別ブロック研修会を追加したため。
	7. 保健指導に関する自己評価アンケートの収集	自己評価アンケートについて追加	自己評価アンケートの収集方法等を追記したため。
	8. 研修会の内容の改善方針	これまでの「評価方法」から「研修会の内容の改善方針」と変更し、改善方針について修正	改善方針について詳細に追記したため。

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
平成 27 年 12 月 9 日 (第 1.4.0 版)	7. 保健指導に関する自己評価アンケートの収集	自己評価アンケートの取り扱いについて明記	管理者や手順等について具体的な記載がなかったため
	8. 研修会の内容の改善方針	研修会の評価方法と標準化のためのフィードバック方法について明記	記載がなかったため
	資料 9-3	自己評価アンケートを掲載	自己評価アンケートの取り扱いについて明記したのに合わせて、その資料として追加した

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
平成 28 年 1 月 15 日 (第 1.5.0 版)	資料 1 0 - 1、1 0 - 2	平成 27 年度地域別研修会を追記	平成 27 年度地域別研修会を開催したため。
	資料 1 1 - 1、1 1 - 2	平成 28 年度第二回中央研修会を追記	平成 28 年度第二回中央研修会を開催したため。
	資料 1 2 - 1	研修会資料 9 - 3 の資料番号を変更 (平成 27 年度第一回中央研修会)	資料 1 0 - 1、資料 1 1 - 1 を追記したため。